

KGPN-news vol. 47

第15回通常総会開催報告

2018年6月28日(木)にコープ・イン、京都においてKGPNの第15回通常総会が開催されました。総会では、2017年度の事業報告と活動計算書(収支報告)が承認され、3月の幹事会で承認を受けた2018年度の活動計画と予算が報告され、全会一致で了承されました。

また、2020年度までの18名の幹事と2名の会計監事の役員が選任されました。そして、KGPNの新しいロゴマークの発表も行われました。

2017年度の活動報告

地産地消活動の推進(地産地消マッチング会、地産地消キャンペーン)、イベントへの出展(名神高速道路桂川パーキングエリア、京都エネルギーフェア、京都環境フェスティバル2017)、セミナーの開催(CSR・地産地消・食のグリーン調達セミナー、地方自治体が協働で進める持続可能な消費・購入研修会)などの活動について報告がありました。

2018年度の活動計画

3年計画の2年目となる地産地消事業の推進、グリーン購入活動を広く知っていただくための展示会・フォーラム等へのイベントの出展、環境活動を積極的に行う事業所の取り組みを学ぶ見学会を予定しています。また、自治体へはグリーン購入を庁内で推進していくための仕組みづくりなどの相談、支援を行っていく予定です。

ロゴマークについて

KGPNの新しいロゴマークが決まりました!使用ルールはKGPNのホームページにも掲載していますのでぜひご確認の上、みなさまの会社・団体のホームページや名刺等にお使い下さい。KGPNの広報にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



2017年度の決算報告

2017年度は、4,309,645円の収入に対し、4,092,244円支出され、当期の収支差額は147,401円の黒字となり、前期繰越額とあわせて759,521円を次期へ繰り越しました。

2018年度から2020年度までの役員

新任1名(株式会社ワコール崎川政文氏)、退任1名、前期から留任17名(交替含む)の幹事18名と留任2名の会計監事が選任されました。



京都でグリーン購入を

※旧ロゴマークを使われていた会員様は、新ロゴマークへの変更をお願いいたします。

第15回 通常総会総会 学習会

総会後の学習会では、「企業として環境・地域社会に関わる取り組みを知る」というテーマで、滋賀県の株式会社たねやから製造部木田幸司さんをお招きし、「たねやグループの環境の取り組みについて」お話をいただきました。続いてKGPNの会員の社会福祉法人オリーブの会施設長の勇川昌史さん、認定NPO法人きょうとグリーンファンド事務局長の大西啓子さんより活動報告をしていただきました。（当日活動紹介をいただいた、(株) Hibanaの松田代表、京のアジェンダ21フォーラムの井上事務局長、滋賀GPNの辻事務局長もありがとうございました。）

株式会社たねや

製造部 木田 幸司さん

たねやは明治5年、140年前に創業し、和洋菓子の製造販売を行っている。たねやグループの中には、農園をやっている(株)たねや農藝、喫茶を行う(株)可美物倶楽部、社内保育園のおにぎり保育園などもある。

たねやは早くから環境保全の取り組んでおり、90年代には再生紙の積極的な利用、2007年には100kw/hの太陽光パネルを工場に設置、2008年にはエコアクション21の取得をした。リサイクルに関しては、食品リサイクル法、容器包装リサイクル法に取り組んでいる。食品製造業者は発生量に対して85%以上のリサイクル実施率を求められており、平成21年度から定期報告書を国に提出している*。工場から出る食品残さは、工場・品目毎に記録し、細かく分別して再資源化している。中にはリサイクルが容易ではないものもあり、例えば水ようかん工場の寒天残さが焼却困難だったり、カビの発生を低くするためにこし餡を作るときは含水率ゼロの餡かすを作るといった様々な工夫をしている。たねやでのリサイクルの優先順位はまずは現場での発生抑制、その後には飼料化、堆肥化、炭化の順で対応している。処理業者は優良事業者であることはもちろんだが、運搬時の排出CO₂も考慮し、県内事業者を



優先するようにしている。たねやグループから飼料はほとんどが豚の飼料になる。ちなみにたねやの残さを飼料化した餌を食べた「バームクーヘン豚」は、バームクーヘンの残さからの飼料は餌全体の1.2%程度なので、豚肉にバームクーヘンの味がすることは無いと思う。

SDGsへの取り組みも紹介したい。たねやでは2017年にSDGs課という専門の部署を立ち上げた。原材料へのこだわりから、産地を訪問したりフェアトレードを実施している。また地域とは小学校の農業体験や大学との産学連携事業も行っている。そういったことがSDGsの目標「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」に貢献できるのではないかと考えている。

*2015年7月に目標値が変更になり、食品製造業は2019年までにリサイクル率を95%にすることが求められている。

質疑応答

Q：SDGsを社内に浸透させるのは容易ではないと思うが、何か工夫をしているか？

A：SDGsの専門部署が立ち上がったのは強いメッセージだと思う。そこが旗を掲げているので、管理職が全体を引っ張ってしてくれる。

Q：太陽光発電（100kw）に早くから取り組んでいるが現在それで全体の何%をまかなっているか？

A：愛知川工場の3%を太陽光でまかなっている。いきなり100%を掲げるのは難しい。段階的に上げていければと思う。またラ コリーナ近江八幡で再エネ100%ができるかやってみよう。

社会福祉法人 オリーブの会

施設長 勇川 昌史さん

精神障がい者の支援（統合失調症、躁鬱、発達障がい）をするために、30年前、山科に保護者が中心になって共同作業所を設立した。就労支援施設で働くことができるのは「通常の事業所に雇用されることが困難な方」で、一度は一般社会で労働をして、継続が困難だった人でないと就労支援施設は利用できない。現在日本では障がい者の数が増えてきていて、それに伴い事業所の数も増加している。つまり今の社会になじめない人が増えてきていることになる。社会の側で労働を変えていく必要性を感じている。

事業としては、地主の方と協働で畑を使用し、地域の方にお手伝いいただきながら露地栽培の旬



の野菜を作ったり、そこで生産された野菜や加工品を関西よつ葉連絡会に卸したり、岡崎マルシェに出店したり、子供食堂で使ってもらったり、高齢者の配食事業を行ったりしている。その他醍醐寺の落ち葉拾いや清掃業務を行ったり、地域福祉やその他のネットワークに参加したりなど地域との連携も大切にしている。

きょうとグリーンファンド

事務局長 大西 啓子さん

きょうとグリーンファンドでは、寄付など市民の協力で資金を調達し、太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくるプロジェクトを進めてきた。これまでに保育所など21カ所が完成している。このような活動をしていると、よく「儲かるのか」と聞かれるが、私たちは「儲からないけれど、誰も損をしない仕組み」で、「化石燃料を減らして、再エネを選択」し、シェアを増やしていくこと、そして、環境に対する意識も変えていくことを、めざしている。



今回、企業にも「おひさま発電所」を設置する取り組みが始まる。KGPNの会員で、賛同して一緒にプロジェクトを進めて下さる方がいらっしゃれば嬉しい。

EVENT REPORT

地産地消マッチング会を開催しました。

8月4日（土）に四条烏丸の「プレミアム百」（会員の有限会社京フーズ様のお店）において、地産地消マッチング会（主催：京都市、KGPN）を開催しました。13組の京都府内の生産者、12組の飲食事業者・流通業者の参加がありました。これはKGPNが昨年度から3年計画で進めている食の地産地消活動のひとつです。

マッチング会では生産者が自分のところで獲れたきゅうり、なす、万願寺とうがらしなどの野菜、鶏卵、しいたけ、米などを、それぞれお勧めの食べ方で調理してもらい、それを試食しながら、名刺交換や飲食事業者が欲しい食材について等の情報交換を行いました。とてもにぎやかで、盛会でしたが、実際の商売に結びつくまでには更に細かな時間をかけた情報交換・相談が必要であるとの課題が残されました。KGPNでは地産地消キャンペーンを今後行いフォローしていく予定です。



新入会員紹介



有限会社 京フーズ

京フーズでは、お弁当製造販売の「遊食郎」や、レストラン「烏丸ダイニングプレミアム百」、「自然食的百円立吞居酒屋「百」、種智院大学食堂を運営しています。こだわりは無添加で手作り、地産地消。それでもプレミアム百ではドリンクも食べ物もオール300円。規格外の野菜を安定的に調達し、食材をすべて使い切ることでこの価格を可能にしています。

お店で大切にしているのは、自分の子供や孫にも食べさせられる食事を提供すること。安心安全を求めるお客様のニーズに応えています。お弁当の配達やケータリング、社員食堂の運営も手掛けています。

有限会社 京フーズ 代表取締役社長 関佳彦

住所：〒603-8842 京都市北区西賀茂今原町 11 TEL：075-494-6444 FAX：075-494-6445

Mail：info@yushokutei.jp HP：www.yushokutei.jp



株式会社 農業法人 京都特産ぼーく

農家の出資のもと 2000年に設立し、本当の京都産にこだわりを持つ豚肉の加工・製造・販売会社です。京都ぼーくは南丹市の日吉ファームより入荷し、そのままチルドの状態から一切冷凍することもなく鮮度の良い状態で、ハム・ウインナー・ソーセージ・焼豚・ベーコンなどの商品に加工し、販売しております。京都府内のスーパーやデパート、レストラン等に卸しております。100% 京都府産の豚肉を使った弊社自慢の商品を多くの方に味わっていただきたいです。



有限会社 農業法人 京都特産ぼーく 代表取締役社長 片山 昭彦

住所：〒601-8141 京都市南区上鳥羽卯ノ花 9 番地 TEL：075-693-7786 FAX：075-693-7787

Mail：kyotopork@yahoo.co.jp HP：https://www.kyoto-pork.co.jp/

会員一覧 (103 団体)

【企業】(58 団体) ……株式会社 アイテック、株式会社 アヴニール、株式会社朝日組、イーライフ 有限会社、株式会社 イセトー、株式会社 上田屋、株式会社 エコマック、株式会社オー・エヌ・イー、オリオン 株式会社、鐘通 株式会社、神山工務店、株式会社関広、株式会社 規文堂、株式会社 教材研究所、共栄製茶 株式会社、株式会社 京都ガーデンホテル、京都信用金庫、有限会社 農業法人 京都特産ぼーく、京都理化学器械 株式会社、有限会社 京フーズ、旭興産業 株式会社、近畿オービス株式会社、株式会社 KEK、コクヨマーケティング 株式会社、コスモ機器 株式会社、株式会社 SION、有限会社 時代工房、株式会社 島津製作所、株式会社 正美堂、セイブリビング株式会社、株式会社 大気社、宝ホールディングス 株式会社、有限会社 糺書房、株式会社 田中光工務店、株式会社 中央精器、東邦電気産業 株式会社、戸田建設 株式会社 京滋総合営業所、有限会社長岡美装社、株式会社 西村新商店、NISSHA 株式会社、日本紙工 株式会社 関西事業部、日本新薬 株式会社、株式会社 花久、光工業 株式会社、有限会社 ひのでやエコライフ研究所、株式会社 Hibana、富士ゼロックス京都 株式会社、ホームケルン株式会社、株式会社 北星社、株式会社 堀場製作所、松下自動機販売 株式会社、株式会社 村田製作所、株式会社 元奈古 (旅館 元奈古)、八木株式会社、安田産業 株式会社、山代印刷 株式会社、株式会社ヨードクリーン、株式会社ワコール

【行政】(4 団体) ……京都府、亀岡市、京都市、舞鶴市

【民間団体】(33 団体) ……井手町商工会、伊根町商工会、宇治田原町商工会、大山崎町商工会、社会福祉法人 オリーブの会、特定非営利活動法人 環境市民、特定非営利活動法人 木野環境、京田辺市商工会、京丹後市商工会、京丹波町商工会、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド、公益社団法人 京都工業会、公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会 (京エコロジーセンター・指定管理者)、京都商工会議所、京都府商工会連合会、京都生活協同組合、特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止活動府民会議、京都府中小企業団体中央会、京都府生活協同組合連合会、一般社団法人 蛍光管リサイクル協会、京北商工会、特定非営利活動法人 KES 環境機構、全京都建設協同組合、全国大学生生活協同組合連合会、大学生協関西西北陸事業連合、NPO 法人 地域環境デザイン研究所 ecotone、長岡京市商工会、南丹市商工会、福知山市商工会、京のアジェンダ 21 フォーラム、みらい発信局おむすび「静原応援隊」、向日市商工会、与謝野町商工会

【個人】(8 名) ……省略

お問い合わせ/入会申し込み

【KGPN事務局】 (所在地) 〒600-8085

京都市下京区葛籠屋町 515-1 ひじきビル 4 階 NPO 法人 木野環境 内

<最寄り駅> ● JR 京都駅 徒歩 15 分 ● 地下鉄烏丸線四条駅/阪急京都線烏丸駅 5 番出口 徒歩 5 分

● 地下鉄烏丸線五条駅 1 番出口 徒歩 5 分

TEL 075-708-8551 **FAX** 075-708-8062

mail kgpn@dolphin.ocn.ne.jp **URL** http://www.k-gpn.org



この印刷物は古紙70%の紙を使用し、風力によって発電された自然エネルギーを利用して、植物油インキで印刷しました。

[2018 年 9 月 発行]

